

|       |               |
|-------|---------------|
| 施設番号  | 66-0959       |
| 施設名   | うめのき保育園       |
| 施設所在地 | 小平市鈴木町2-186-4 |
| 法人名   | 社会福祉法人小松福社会   |

## テーマ

## 環境 お祭り

### テーマの設定理由

おうちでお祭りに行った経験からお祭りごっこが展開される。お祭りという共通体験が友だちと共有しやすく、発展が期待される。

### 活動スケジュール

近隣でおまつりが始まる7月～9月。子どもたちがお祭りについて興味を持ち始めたらスタート。  
3月のおわかれ会でもおまつりが再現された。

### 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

工作材料  
はっぴやゆかた  
お祭りの経験・・・等々

### 探究活動の実践

おみこし わたあめ屋さん 焼きそば屋さん 射的屋さん  
金魚すくい りんご飴 光るジュース屋さん おめん屋さん  
よさこい・・・やりたいことがいっぱいのかどもたちです。  
子どもたちのお祭りへの思いは止まりません。「はっぴ着ようよ!」  
「ゆかた着たいね」という話も出てきました。衣装を作りはじめる子どもたちもいました。思い思いのスタイルでお祭りへ参加することもしっかり考えていました。

お店の担当を決めて、作るものを分担したり、何を用意したらいいのか考えたり、こどもたちはいっぱい話し合ってお祭りごっこを企画しました。楽しくて楽しくて、他のクラスを誘ったり、大人に声をかけたり、とうとう楽しすぎた経験は、おわかれ会でももう一度お祭りごっこを企画する流れになったのでした。

### 振り返り 保育士の気づき

共通の体験はこどもたちのあそびのイメージが膨らみ、大きく発展していきます。共感しながらのあそびは次のアイデアを生みだします。昨年もお祭りごっこは展開されていたので、その経験も進めるうえでのエッセンスとなったのだと思います。よさこいを習っている経験から、クラスの有志で教え合って披露する姿は自立と成長を感じた場面でした。春のお祭りごっこでは夏のお祭りごっこでお客さんの存在だった年少さんが、地図を作り入口でお客さんに説明したり、お店に参加して大きな声でやりとりをする姿に変わっていたことも成長を感じる場面でした。



おみこしづくり



おめん屋さん



よさこい

